掲載日:2026年05月19日,面名:U106X0,記事ID:K2026051900000007300
(C)河北新報社

東北大快勝 勝ち点1

仙台六大学野球

春季リーグ第6節第3日は18日、仙台市の東北福祉大球場で宮城教育大―東北大の3回戦があり、東北大が勝って勝ち点1を挙げた。

東北大は三回に押し出し死球などで2点を先取。四回以降も着実に加点した。先発冨久田は7回無失点と好投した。

今節を終え、東北工大の6位が確定した。最終節第1日の23日は、同球場で東北福祉大―東北学院大、仙台大―東北大の各1回戦が行われる。

着実加点 コールド

宮教大―東北大3回戦（東北大2勝1敗）

宮教大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北大	0	0	2	1	2	1	0	0	1×	7

（八回コールドゲーム）

勝 冨久田4試合1勝
敗 泉6試合5敗

【評】東北大がコールド勝ち。三回に押し出し死球と敵失で2点を先取。四回も敵失で加点し、五回は関根の右邪犠飛などで2点を挙げて引き離した。先発冨久田は7回1安打無失点と好投した。宮教大は投手陣が8四死球と乱調。守備も4失策と乱れた。

○…**冨久田、初先発で初勝利** 東北大の先発冨久田がリーグ戦初先発で初勝利を飾った。7回を投げ、わずか1安打。「勝ち点が懸かる大事な試合で勝ててうれしい」とはにかんだ。

立ち上がりは不安定だった。一回、2連続四球で1死一、二塁。4番を中飛に仕留め、その後盗塁を狙って飛び出した二走を、三塁送球でアウトに。これで調子を取り戻した。二回以降は140キロ台の直球を勝負球に、五回まで安打を許さなかった。

今では少数派の振りかぶるフォーム。試行錯誤の末、2月に今の投げ方にたどり着いた。「投げやすく、直球で押せるようになった」と手応えを語った。

宮教大―東北大 7回1安打無失点で初勝利を挙げた東北大・冨久田

宮教大	打	安	点
(左)磯谷	2	0	0
(右)宮原	2	0	0
(左)寺崎	0	0	0
(右)古川	2	0	0
(二)橋本	3	0	0
(指)千葉	3	0	0
(捕)虎木	3	0	0
(三)鈴田	3	0	0
(遊)藤	2	0	0
(一)金	3	0	0
(中)芳賀	2	1	0
(遊)三千	1	0	0
打振	球	犠	併残
6	4	0	1
3	23	1	0

東北大	打	安	点
(中)本郷	5	2	0
(遊)田村	3	1	1
(右)真下	4	1	1
(指)遠藤	3	1	1
(一)稲葉	3	1	0
(三)関根	3	0	1
(左)美才治	3	1	0
(捕)熊	1	0	0
打捕 広尾	0	0	0
(二)真谷	0	3	2
振 球	犠	併	残
2 8	4	1	1
11	28	9	4

(二)稲葉、真谷(盗)宮原、田村(失)古川2、芳賀、千葉虎、田村

時 2時間18分

投	手回	打	安	責
泉	2⅔	14	1	0
山田	4⅓	22	5	2
近藤	⅓	4	3	1

冨久田	7	23	1	0
下村	1	4	0	0